

小平



スピード日本女子で初 500



電子号外

ご購読のお申し込みは お近くの「岩手日日」販売店、または

◆フリーダイヤル……

(0120) 2600945

岩手日日ホームページ・電子新聞 <https://www.iwanichi.co.jp>

平昌五輪のスピードスケートは18日、女子500mが行われ、小平奈緒（相沢病院）が日本女子初の金メダルを獲得した。

スピードスケートの日本勢が金メダルを獲得したのは、1998年長野五輪男子500mの清水宏保に続き2人目。女子500mでのメダルは同五輪銅の岡崎朋美以来。小平は1000mの銀に続いて今大会二つ目のメダル獲得となった。

スピードスケート女子500mで金メダルを獲得し、
日の丸を手に場内を回る小平奈緒＝18日、韓国・江陵

小平 奈緒（こだいら・なお）相沢病院。信州大出。10年バンクーバー五輪団体追い抜き銀メダル。17年世界距離別選手権500m優勝、1000m2位。同年世界スプリント選手権で日本女子初の総合優勝。同年12月、500mで36秒50の日本新、1000mで1分12秒09の世界新記録を樹立。今大会は1000mの銀に続くメダルで、500mでは16～17年シーズンから国内外で25連勝となつた。165cm、60kg。31歳。長野県出身。